

南国市総合体育館 (仮称) 基本設計完了!



■計画地	前浜字吉井1348地
■敷地面積	約 8,400㎡
■建築面積	約 6,860㎡
■延床面積	約 7,300㎡
■構造	鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造 鉄筋コンクリート造
■階数	地上2階(一部3階: 映写室など)

1) 南国市のシンボルとして

- *市民に親しまれるスポーツエリアのシンボルとなる施設
- *伝統を大切にしながら未来をイメージさせる施設
- *気候風土などの地域特性に配慮した施設

2) 市民のための公共施設として

- *開放的で明るく気軽に利用できる施設
- *身体障害者、高齢者の人々が安心して利用できる施設
- *市民のさまざまなスポーツ、イベント活動に対応できる施設
- *災害時の地域の防災拠点としての機能を考慮した施設

3) 第57回国民体育大会施設として

- *国民体育大会のバドミントン会場としての十分な機能をもつ施設
- *将来にわたりバドミントン会場のメッカとなる施設



土佐のまほろば あったか南国市 ⑩



十大基本目標

シリーズ⑧

- 交通・情報・通信ネットワークづくり
- 広域高速交通の拠点として道路交通網の整備、幹線道路の整備、公共交通機関との接続や産業集積機能の強化により人と物・情報の交流を活性化し、商店街の活性化や産業の育成を進め豊かな生活ができる都市をつくりまします。
- ①幹線道路の整備
 - 高知自動車道南国〜須崎間の建設促進と、川之江〜南国間の四車線化早期実現に働きかける
- ②都市計画道路
 - 都市計画道路高知南国線および割田駅前線の建設促進
 - 産業業務施設や物流拠点、団地内などの幹線道路の整備や生産拠点を連結させる交通ネットワークづくり
 - 市道・生活道の整備
- ③高知空港の整備
 - 高知空港の拡張整備
 - 高知空港への国際・国内航空路線の充実を働きかけ、経済・文化交流の広域化を図る
 - 高知空港ターミナルビルの整備を働きかける
- ④公共交通などの整備
 - 鉄道阿佐線の建設を促進
 - IR土讃線、土佐くろしお鉄道阿佐線および土佐電鉄電車との結節機能の充実に向け、全国的にもユニークな駅名「ごめん駅」を生かした取り組み
- ⑤交通安全
 - 総合的な交通安全意識の整備
 - 市民の交通安全思想の高揚と交通モラルの向上を図る
- ⑥高知新港への対応
 - 高知新港建設に伴うテックノスパーライナーの寄港や後背地としての物流拠点の整備および広域交通運轉体系の整理などを働きかける
- ⑦情報・通信基盤の整備
 - 南国オフィスパークの中核施設である南国オフィスパークセンターを活発な経済活動を支援する情報拠点として整備
 - マルチメディア時代に向けて、生活や産業に有効に活用できる多様な情報・通信システムづくり

●同和問題Q&A

疑問に答えて⑩

その二

◆同和地区の人々の生活態度に問題があるから差別されるのではないかと?

私たちの日常生活の中で、同和地区の人は「集団でおしかけてくるので怖い」という意識が残っています。

それは、かなり以前の「糾弾会」のイメージからきている場合が多いのです。かなり以前の糾弾会は、差別行為をした個人を徹底追及するという内容でした。しかし、現在は、事実を確認し、差別し、謝罪を促すという方法が取られています。

そこからは、次のような人間変革が行われているのです。

「私の体験」

前任者から職員採用資料として「部落地名誌」のコピーを引き継いだ。一九八〇

同和教育シリーズ

私は、「差別図書は所持しないから差別ではない」と言っていた。部落の人々の怒り、嘆き、訴えを繰り返し聞きとる中で、ようやく自分たちがどんなにひどい差別者だったかが、分かってきたからだ。

最後の糾弾会が終わるころ、自分たちはもともと責められても当然じゃないのか、自分が糾弾する側ならもつと怒るだろう、と思えるようになり、同時に糾弾への偏見も解けた。

今後、社内研修の中心に立ち、部落出身者が入社してきても、針のムシロ、意識をしないですむ職場づくりをしたい。

この人は、その後、同和地区の現地学習をして、部落の人々が差別によって、日々どんな思いで暮しているかを知り、差別の中で解放を求め続ける部落の人々の人間的な熱意、温かい人間関係などをさらに驚感した、と語っています。

私たちは、現在行われている確認・学習会の姿を正しく理解し、「集団で押しかける」「怖い」という偏見をなくしていかなければならないのではないのでしょうか。



- マイレール意識の向上や利用者増に努める
- 過疎地や交通弱者の足を確保するため、高知中央地域公共交通対策協議会を適してバス路線や移動手段の確保など今後の公共交通のあり方について検討